



クラブ対抗リレーでは、ユニホーム姿で力まする部員に「行けー!」「抜けー!」と激励の先生方も本気で応援。

勝っても負けても  
最後は笑顔



1学期のスポーツ大会後のアンケートから選ばれた新種目「ビーチフットボール」。旗をつかみ取ったのは誰?

障害物競争の旗び箱では、バケツに入った水を勢いよくかけられたり、どの競技もひと工夫されている。



**高3生最後の行事を盛り上げる後輩たち**

「灘校魂」を胸に、誇りをもって臨みましょう。」  
と開会式で挨拶した高2の生徒会長は、「自由な校風は、責任を伴ってこそそのものと、学校生活のすべてから体得します。」  
と語ります。体育祭でも120人もの体育委員が自分たちで企画・運営しているのが、例え準備が遅れても先生方は見守るだけです。  
「昨年の団長に続きたい」と団のため」と団長に志願した生徒たちは、「楽しむときはめいっぱい楽しみ、何事にも懸命に取り組むのが灘校生」と話します。

開会式では、夏休み返上で準備をしていた体育委員長が「高3生が毎日下校時間まで練習し、素晴らしい応援合戦を見せてくださいました。僕達も見習います」と、締めくくりました。これが最後の学校行事になる高3生は、肩を組んで校歌を斉唱、優勝した団長の目には涙が浮かんでいました。

先輩や仲間との絆を育む



▲聖体の真持ちで入場行進の先頭を行く中1生徒団員に、先輩や保護者達から拍手がわく。

高3生を中心に一糸互れぬ演技を5分間披露する。高校生の応援合戦。



## 6学年を縦割りにして 生徒主体の運営で “灘校魂”を継承する 第79回体育祭



男子校ならではの  
激闘が続く

高校生全員が参加する騎馬戦は、相手が高馬するまで闘いを続ける伝統競技。

「不撓不屈の精神で一意専心、正々堂々と闘います」  
9月28日、前体育委員長の宣誓で始まった第79回体育祭。中高6学年縦割り4団の編成で、闘志がぶつかり合う伝統の騎馬戦、高3生主体の応援合戦など、白熱した競技・演技が繰り広げられました。  
上級生の活躍に目を見張り、初々しい中1生に温かい拍手を送る生徒たちは、まるで仲の良い兄弟のようです。

中2・3生が激しくぶつかり合う種目は、高校騎馬戦の前哨戦?



灘